

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、2022年第40週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和4年 第40週分 10月4日～10月10日公表分*

※本集計から県公表資料に合わせ、火曜日～月曜日公表分を1週間の集計単位とする。

（以前は感染症発生動向調査の疫学週の月曜日～日曜日を集計単位としていた）

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において

上記期間に富山県内で報告された症例

→ 2,307例

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

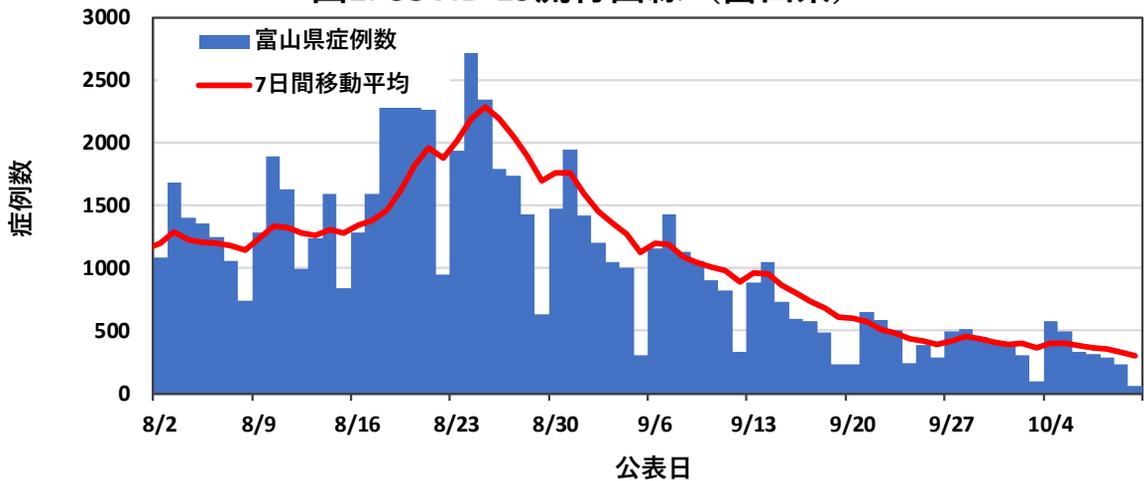
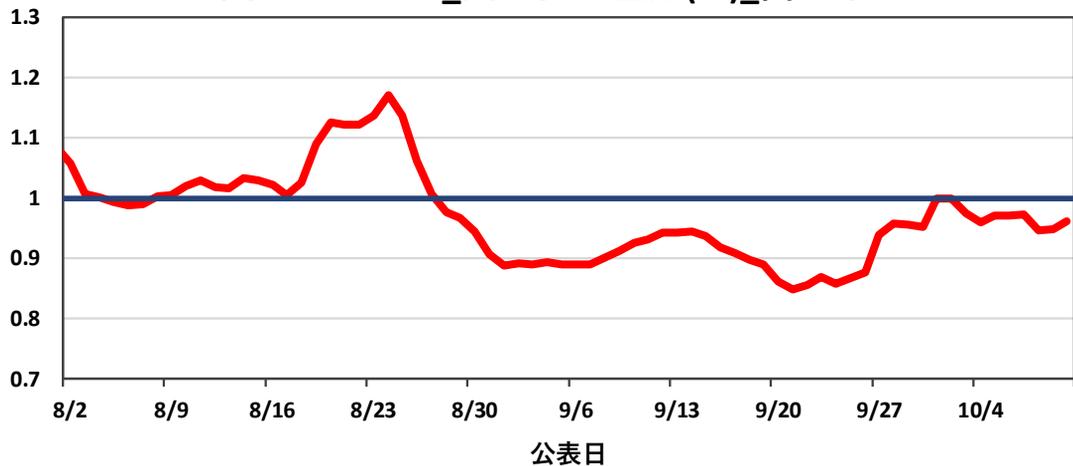


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、40週）

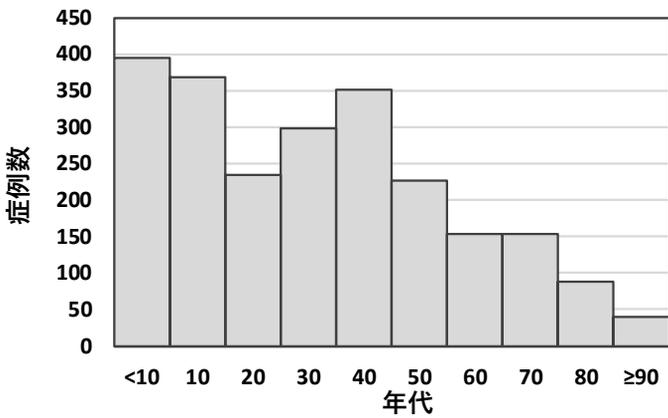


図4. COVID-19年代別割合（富山県、40週）

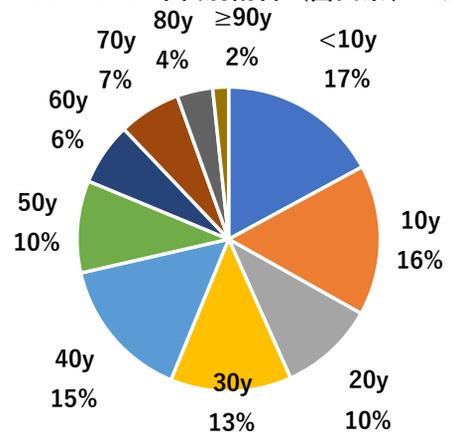


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

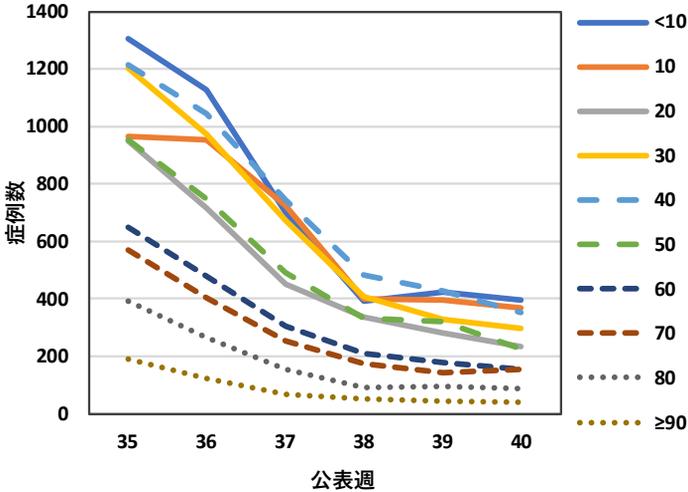
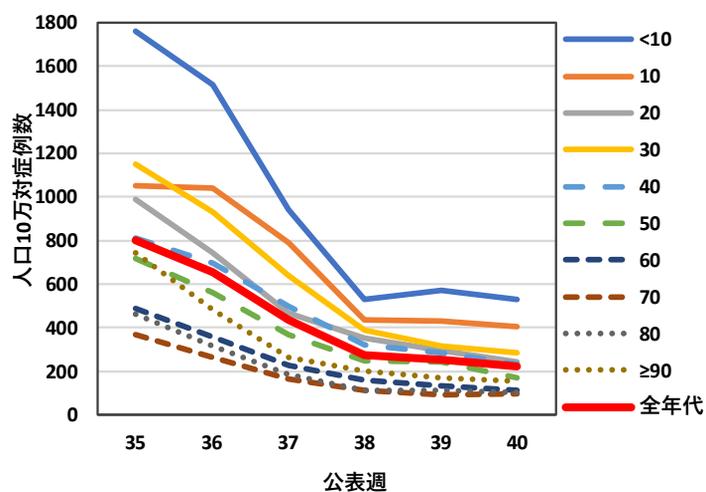


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



10月10日時点での所見と考察

- 第40週の新規報告数は、2,307例。先週（2,639例）より減少したものの、減少の鈍化が認められた。
- 実効再生産数（図2）は、0.95~1.0の範囲を推移し、10/10時点で0.96。
- 第40週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。10歳未満、10歳代、40歳代の順に症例数が多い状況。60歳以上の年代は19%。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。第38週以降、全ての年代で減少傾向の鈍化が認められた。